



平成 28 年 4 月 11 日

各 位

会社名 株式会社LIXILグループ  
代表者名 代表執行役社長 藤森 義明  
(コード番号 5938 東証・名証各一部)  
問合せ先責任者 執行役副社長IR担当 筒井 高志  
(TEL 03-6268-8806)

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 11 月 2 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成 28 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	1,855,000	62,000	57,000	5,000	17.45
今回発表予想(B)	1,840,000	57,000	50,000	△20,000	△68.34
増減額(B-A)	△15,000	△5,000	△7,000	△25,000	△85.79
増減率(%)	△0.8	△8.1	△12.3	—	—
(ご参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	1,673,405	51,674	57,862	22,012	75.46

#### 2. 修正の主な理由

当通期連結業績の親会社株主に帰属する当期純損益に大きな差異が発生した要因は、国内子会社の退職給付債務に関して数理計算上の差異を即時認識する会計処理を採用しているため、金利低下に伴い営業損失約△100 億円が発生したこと(税引後約△70 億円)、当期に計上した関係会社投資関連損失約△280 億円に対して損失の追加回復・入金の最大化を目指し、損失の確定を行わず当期での繰延税金資産の計上を見送ったことによる影響△90 億円、不採算事業などにおける減損処理などの一過性影響約△85 億円(税引後約△70 億円)や中国ビル事業(上海美特社・3月末売却済)での税引後損失約△40 億円等の一時的影響のほか、国内新築需要が見通しを下回ったことなどによる売上・営業利益の計画未達の税引後影響約△20 億円によるもの、また海外子会社における退職給付債務の数理計算上の差異約+135 億円(最終純損益+40 億円)などにより予想を下回ったものであります。

なお、期末配当予想については、従来と変更ありません。

(注)上記の予想は、現時点における入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以上